

3月テキスト

聖書は「ただイエス・キリスト」についての話です。私たちは、聖書を通して、ただイエス・キリストを発見する力を得ることが大事です。聖書のどこを開いても、「イエス・キリストの話」を発見しましょう。今月の人物を通して「ただイエス・キリスト」を発見して、神様がなさるみわざを見ましょう。

各課の内容は、テキストで默想しましょう。それぞれのフォーラムのポイントを出します。

4課 あらかじめ征服をしたエステル

「イエスの死と復活」

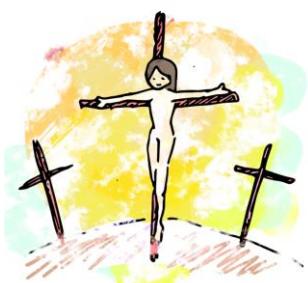
どんな人物を通して、イエス・キリストを発見しましょう。エステルも「ただイエス・キリストがなさることを先に記録した人物です」

ほんとうにイスラエルの民、全員が滅ぼされる危機にあったとき、モルデカイがエステルに「あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。」(エステル4:14)と言います。そのときのエステルの答えです。

エステル4:16

「行って、シュシャンにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食をしてください。三日三晩、食べたり飲んだりしないように。私も、私の侍女たちも、同じように断食をしましょう。たとい法令にそむいても私は王のところへまいります。私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」

イエス様が十字架にかかる前の夜に、祈られました。



マタイ14:36

またこう言われた。「アバ、父よ。あなたにおできにならないことはありません。どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願うことはなく、あなたののみこころのままを、なさってください。」

その後、神様の願われるとおりに、十字架にかかり死なれ、三日三晩のあとよみがえられました。

エステルが言った「三日三晩、断食します」「私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」これがイエス様の祈りと同じです。すでにエステルは死にました。そして、神様の恵みで復活しました。イエス様の十字架の死と復活によって、信じるすべての人々が生かされることが、エステル書の内容です。イスラエルの民全員が滅ぼされる場面で、「私は、死ななければならぬのでしたら、死にます。」というエステルの祈りによって、死んでよみがえることによって、イスラエルの民が生かされました。

4課を通して、イエス様の死と復活をフォーラムしましょう。

イエス・キリストの十字架のことを、神様が十字架の何千年前にエステルを通してあらわして、記録してくださったことを知りましょう。

